

環境クリエイター TakasaGo!

 高砂熱学

2022年11月17日

2023年3月期第2四半期決算説明会

高砂熱学工業株式会社

**1. 2023年3月期第2四半期 連結決算概要
2023年3月期 連結業績予想・株主還元**

事業統括本部長 神谷 忠史 P.2

**2. 新ビジョンの方向性と2022年度の事業運営
(①成長戦略の進捗、②ESGの取り組み進捗) について**

社長COO 小島 和人 P.10

Appendix. 資料集

P.23

1.2023年3月期第2四半期 連結決算概要 2023年3月期 連結業績予想・株主還元

事業統括本部長
神谷 忠史

環境クリエイター® TakasaGo!

 高砂熱学

2023年3月期第2四半期 連結業績サマリー

計画以上の工事進捗により増収、売上総利益は増益。販管費増加により営業利益以下は減益。

受注高は、完工量・配員計画を考慮しながら、産業系を中心に前年同期比+45.5%

(単位：百万、%)	22/3期2Q	23/3期2Q		
	実績	実績	増減	増減率
売上高	122,275	150,801	+28,525	+23.3
売上総利益 (売上総利益率)	14,472 (11.8)	16,536 (11.0)	+2,064 (▲0.8)	+14.3 -
営業利益 (営業利益率)	2,231 (1.8)	1,555 (1.0)	▲676 (▲0.8)	▲30.3 -
経常利益 (経常利益率)	3,055 (2.5)	2,347 (1.6)	▲708 (▲0.9)	▲23.1 -
四半期純利益 (四半期純利益率)	1,786 (1.5)	1,462 (1.0)	▲324 (▲0.5)	▲18.1 -

受注高	153,921	223,931	+70,010	+45.5
繰越高	263,095	342,018	+78,922	+30.0

◆売上高：

単体・海外子会社において、計画以上の工事進捗により増収（前年同期比+23.3%）

◆営業利益：

売上総利益は、前年同期比で増加するも、成長への投資実行による販管費増加を受け減益

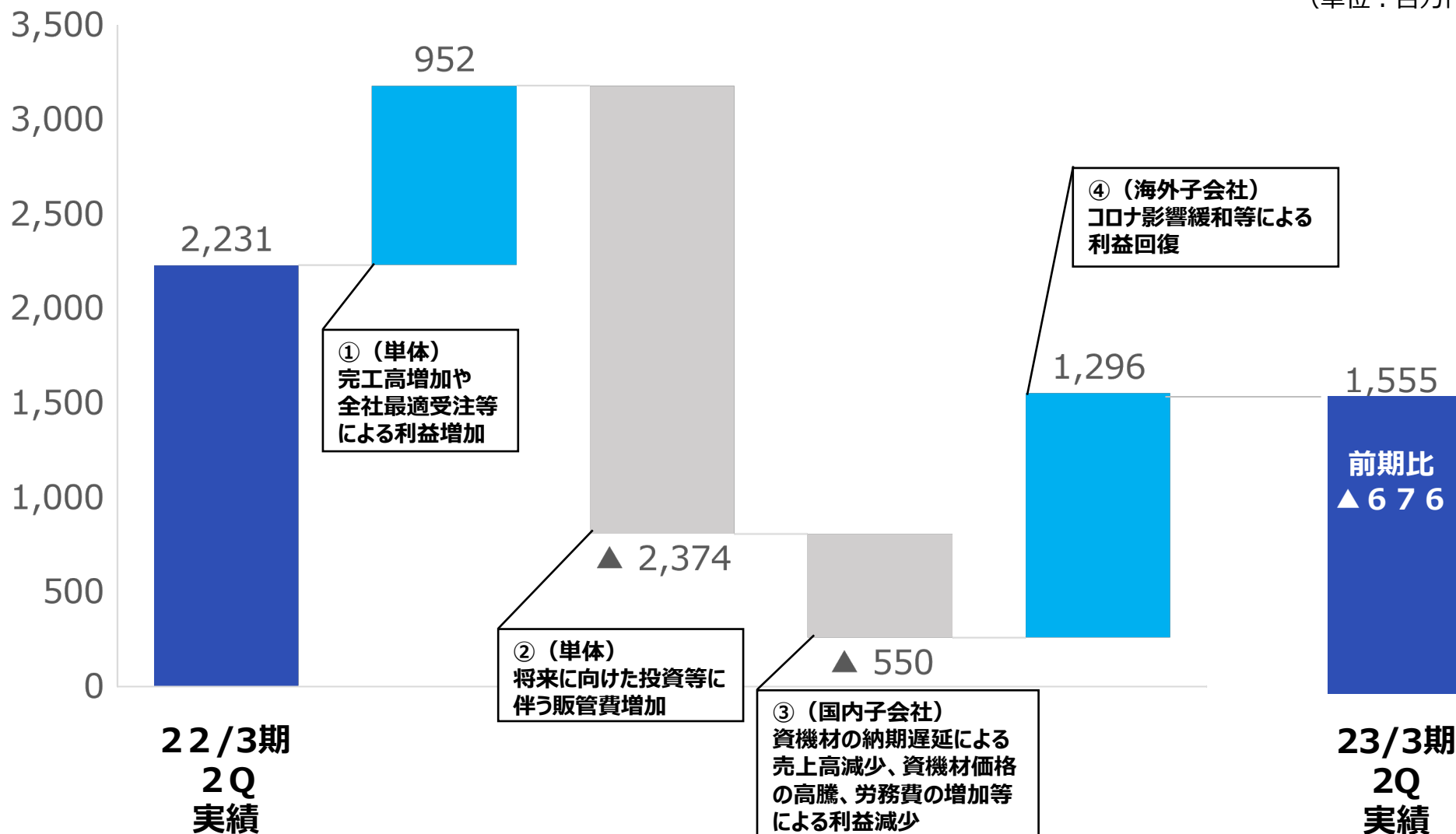
◆受注高：

豊富な情報量のもと、完工量や配員計画を考慮した計画的受注活動を展開し、一般・産業空調分野とも、前年同期比で増加

(2022.11.11 通期受注計画上方修正→P.8)

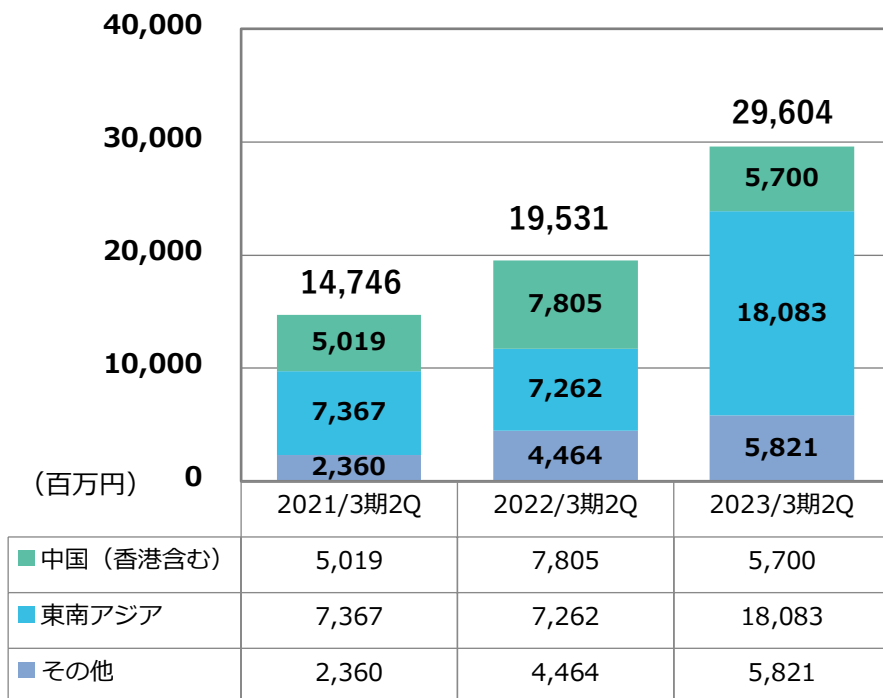
連結営業利益の主な増減要因（前年同期比）

（単位：百万円）

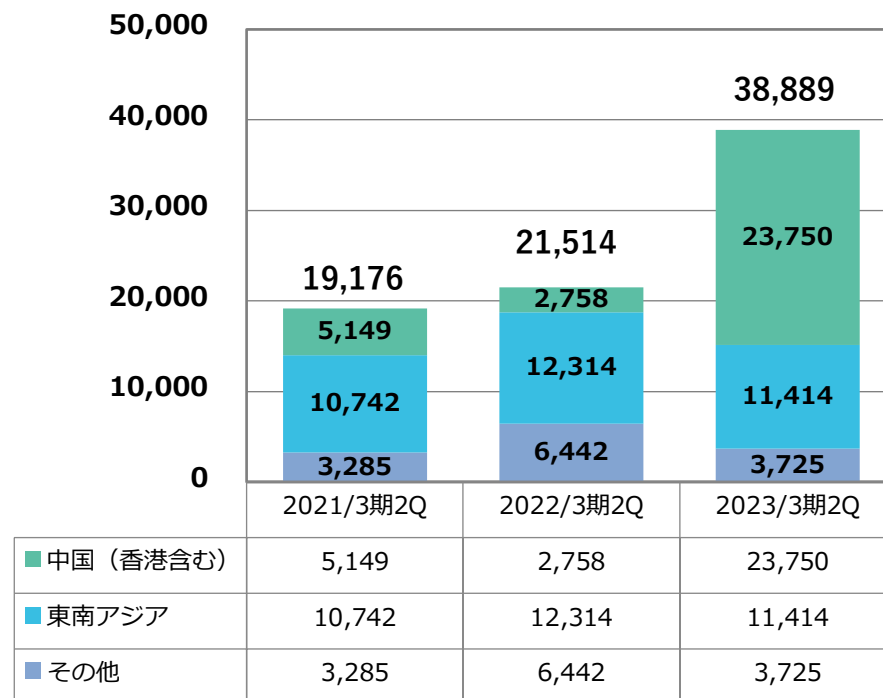


(補足資料) 国際事業の状況 - 地域別内訳

売上高推移



受注高推移



2023年3月期 第2四半期 概況

売上：都市封鎖等に関連するコロナ影響は一部地域で残ったものの前年同期比+51.6%

受注：半導体関連を中心とした産業設備分野が活況であり、前年同期比+80.8%

バランスシート (前年度末比)

(単位：百万円)

	2022年 3月末	2022年 9月末	増減
流動資産	228,208	214,907	▲13,301
現金・預金等	56,960	37,232	▲19,728
売上債権等 ※1	158,944	160,646	+1,702
その他	12,301	17,027	+4,726
固定資産	28,864	28,823	▲41
投資その他資産	43,663	43,669	+6
総資産	300,736	287,400	▲13,336

※1 ⇒ 受取手形・完成工事未収入金等、電子記録債権

※2 ⇒ 支払手形・工事未払金等、電子記録債務

	2022年 3月末	2022年 9月末	増減
流動負債	134,342	119,176	▲15,166
仕入債務等 ※2	86,272	69,507	▲16,765
工事損失引当金	2,018	1,381	▲637
短期借入金	8,058	5,473	▲2,585
未成工事受入金	16,116	20,938	+4,822
その他	21,874	21,872	▲2
固定負債	29,496	29,370	▲126
社債	25,000	25,000	0
その他	4,494	4,368	▲126
純資産	136,897	138,853	+1,956
負債・純資産	300,736	287,400	▲13,336

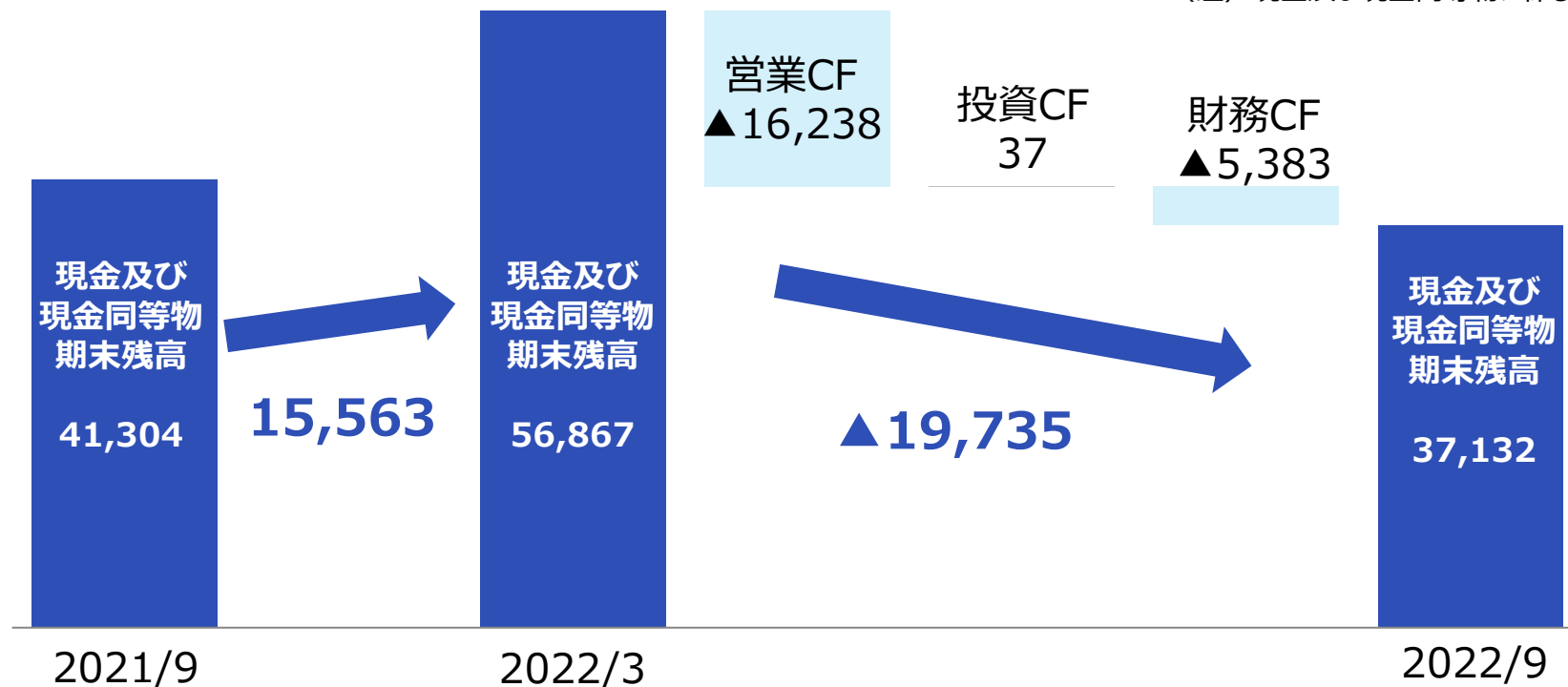
自己資本	132,897	134,216	+1,319
自己資本比率	44.2%	46.7%	+2.5pt

キャッシュ・フロー

現金及び現金同等物期末残高の推移

(単位：百万円)

(注) 現金及び現金同等物に係る換算差額除く



- ◆ 営業CF: 仕入債務の減少や法人税の支払等により、▲16,238
- ◆ 財務CF: 短期借入金の返済や配当金の支払等により、▲5,383

2023年3月期 連結業績予想

- ◆ 大型の工場案件ならびに再開発案件の順調な進捗を見込むとともに、**施工体制強化と生産性向上に資する取り組みにより、前期比増収・売上総利益は増益の計画**
- ◆ 「人的資本」ならびに「環境事業」などの**成長戦略に基づく投資を一層強化**。営業利益以下の各段階利益は減益の計画
- ◆ 大型の工場案件を中心とした豊富な情報量のもと、**通期受注計画を上方修正（280,000百万円→345,000百万円）配員計画等を考慮した全社最適受注を継続実施**
- ◆ 資機材の納期遅延や価格動向、ならびに現場の工程遅延等の各リスクに対して、本社によるモニタリング体制を構築し、情報の早期収集と迅速な対応を図り、影響回避に努める

(単位：百万円、%)	22/3期		23/3期			
	2Q 実績	通期 実績	2Q実績	通期予想	前期比増減	増減率
売上高	122,275	302,746	150,801	311,000	+8,254	+2.7
売上総利益 (売上総利益率)	14,472 (11.8)	41,396 (13.7)	16,536 (11.0)	43,000 (13.8)	+1,604 (+0.1)	+3.9 -
営業利益 (営業利益率)	2,231 (1.8)	14,383 (4.8)	1,555 (1.0)	13,100 (4.2)	▲1,283 (▲0.6)	▲8.9 -
経常利益 (経常利益率)	3,055 (2.5)	15,639 (5.2)	2,347 (1.6)	14,500 (4.7)	▲1,139 (▲0.5)	▲7.3 -
当期純利益 (当期純利益率)	1,786 (1.5)	11,535 (3.8)	1,462 (1.0)	10,800 (3.5)	▲735 (▲0.3)	▲6.4 -
ROE	-	8.7	-	8.0以上	-	-
受注高	153,921	340,184	223,931	345,000	+4,816	+1.4

株主還元

● 配当

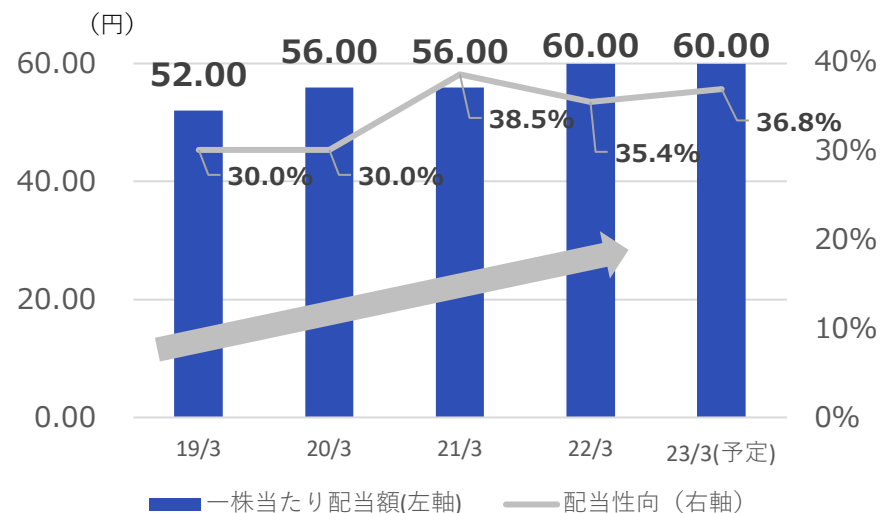
- ✓ 2022年度中間配当30円（前年度29円）
- ✓ 通期60円（期末配当30円）を予定

	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 中間実績	2022年度 予定
1株当たり 年間配当金	56円	60円	30円	60円
1株当たり 当期純利益	145.56円	169.38円	—	163.18円
配当性向	38.5%	35.4%	—	36.8%

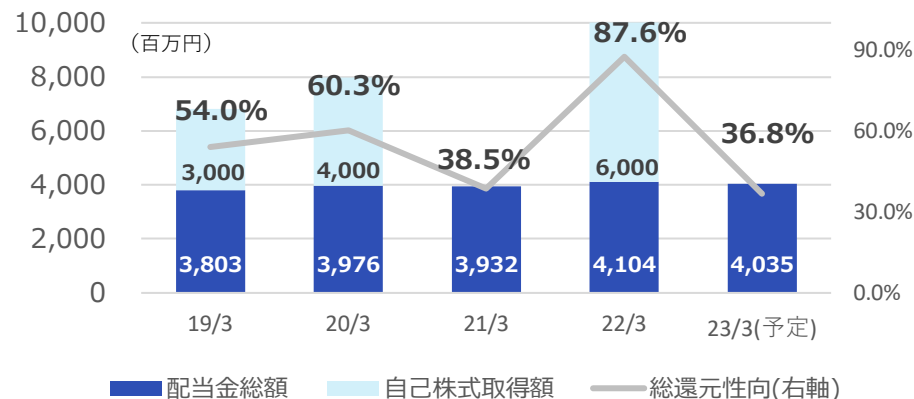
<株主還元に関する基本方針>

配当による株主還元を基本とし、減配を行わず当社グループの利益成長に応じて配当を増やしていく方針。自己株式の取得は、中長期的に株主価値および企業価値を高める観点より、財務健全性と資本効率を踏まえつつ、市場環境や資本水準、事業投資機会等を総合的に勘案し機動的に実施。

配当の推移



配当金総額・自己株式取得額・総還元性向の実績推移



2. 新ビジョンの方向性と 2022年度の事業運営（①成長戦略の進捗、 ②ESGの取り組み進捗）について

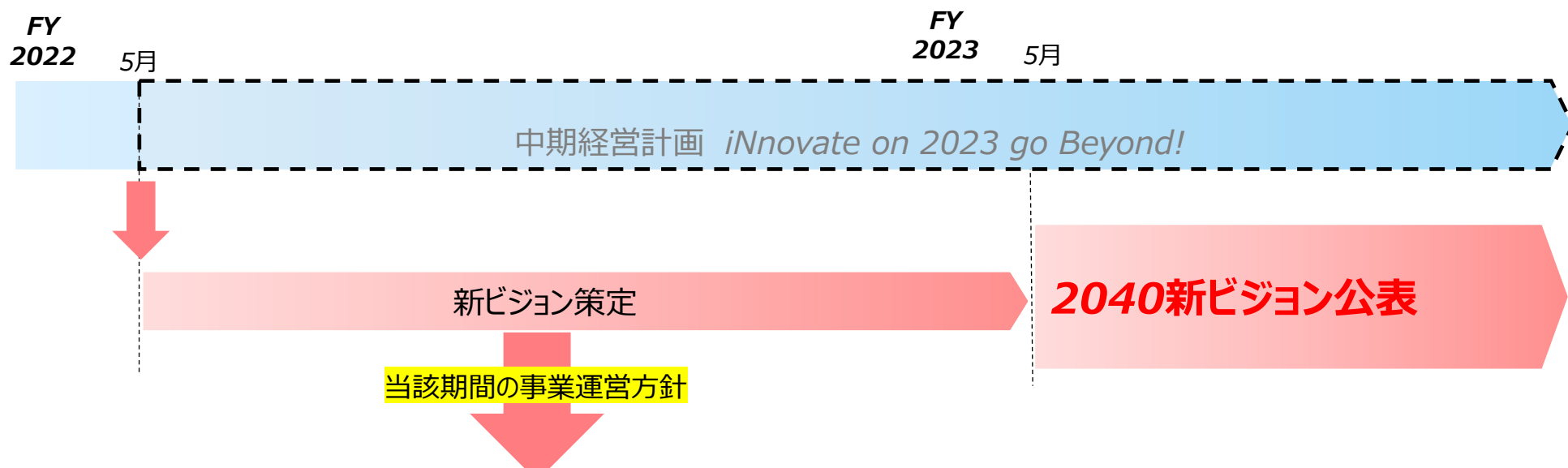
社長COO

小島 和人

環境クリエイター® TakasaGo!

 高砂熱学

新ビジョンの策定について



～2022年度（中期経営計画の取り下げ期間中）の事業運営方針について～

- ・iInnovate on 2023 go beyond!の成長戦略（国内事業の強靱化・国際事業の変革・環境事業への挑戦）を継続実行
- ・ESG・カーボンニュートラルへの取り組み強化に向け、環境事業や人的資本への投資を加速・推進
- ・株主還元方針は2023年度まで継続

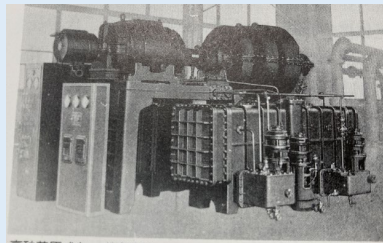
2022.5.13 中期経営計画の取り下げに関するお知らせ 補足資料抜粋

新ビジョンの方向性

当社のDNA・変遷

当社は創立以来一貫して「技術の高砂」を標榜し、独自の技術を開発してきた。しかし企業としての拡大とともに、請負施工的な部分が増大し、創造開発的な部分をしのぐようになっているという観点も生じている。

いずれの観点を探るにせよ、創造開発部分を持つ当社のエンジニアリング企業としての性格は次世紀にも引き継がれるという予測は変わらない。



高砂荏原式タワー冷凍機

高砂熱学70年史抜粋



高砂熱学工業70年の歩み

地球環境への貢献 カーボンニュートラル

2050

日本国
カーボンニュートラル

2040

社会のグレート・リセット
民間企業のCO2排出ゼロ目標

2030

SDGsの達成期限

2022

現在

- 社会とともに持続的な成長を図り、地球に貢献する企業
- 『地球や人々に必要とされる“環境”』を創造

環境クリエイター 高砂熱学

従来の事業領域を発展

新たに創出する事業領域

空調工事を核とした
建物空間の
ワンストップサービス事業

地球環境に貢献する
カーボン
ニュートラル事業

① 成長戦略の取り組み進捗について 1) 国内事業の強靱化

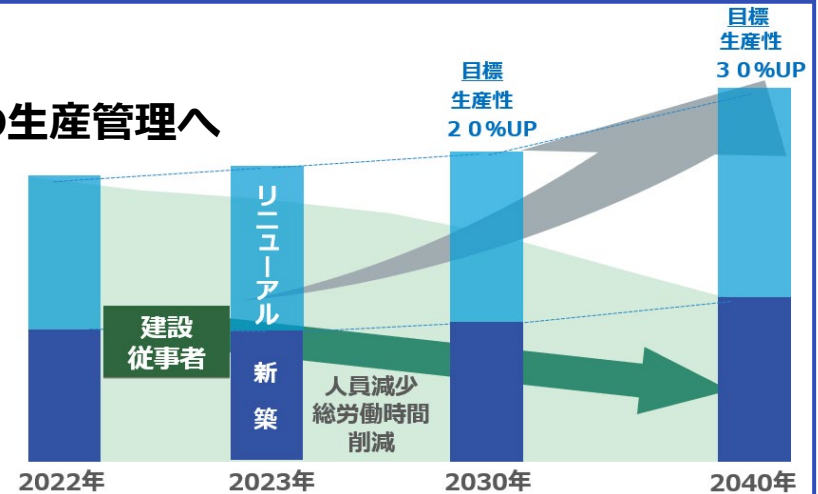
| 施工プロセスの変革 T-Base®

労働集約型の現場での施工管理から、プラットフォームでの生産管理へ

- ・建設従事者の高齢化・生産人口漸減、時間外労働上限規制の適用に対応しつつ、施工キャパシティの維持・拡大には、生産性向上が必須

環境負荷低減への貢献

- ・再生エネルギー電力活用：4～8月約95,000kWh (47.9t-CO₂) の削減
- ・東京都環境局「令和4年度革新的技術・ビジネス推進プロジェクト」事業者にて採択～廃プラの可視化・マテリアルリサイクルのプロセス確立～

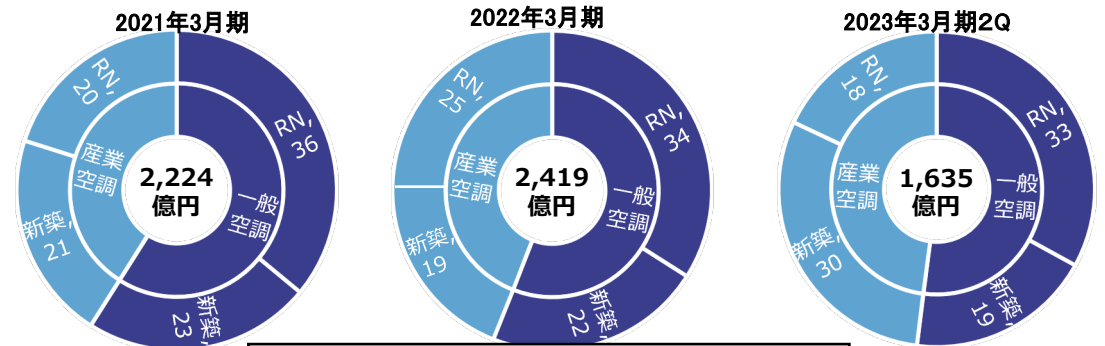


| 全社最適受注

短工期で施工効率性の高い“産業設備”と工程遅延リスクが少ない“リニユーアル(RN)”工事の受注比率を向上

期待効果

- ・働き方改革への対応が求められる中、効率良く人的リソースの配分を行い、高い付加価値を提供。安定的な利益の創出へ
- ・計画・設計段階からお客様と共に、「ものづくり」のプロセスを踏み、社員の仕事のやりがい向上へ



(単体) 工事種別 受注工事高割合の推移



※1 2021年3月期の受注時工事利益率を100とした場合の推移

地球環境に貢献するカーボンニュートラル事業

①成長戦略の取り組み進捗について 2) カーボンニュートラルへの取り組み

以下の様な地方自治体における連携プロジェクトに積極的に参画

社会実装第1号プロジェクト「石狩市厚田マイクログリッドシステム」



太陽光とグリーン水素活用による新たな電力供給モデルとなる「石狩市厚田マイクログリッドシステム」
→2022年4月より運営事業を開始

2022年9月
「第5回エコプロアワード」にて奨励賞受賞
主催：一般社団法人サステナブル経営推進機構
(石狩市との共同受賞)



参画中のコンソーシアム(抜粋)

①SENBOKU (大阪府堺市) スマートシティコンソーシアム
建設系企業として唯一参画、エネルギーWGに所属



出所：SENBOKUスマートシティコンソーシアムホームページ



②川崎市カーボンニュートラルコンビナート協議会

Colors, Future!
いらいらして未来、川崎市

令和4年5月13日
報道発表資料

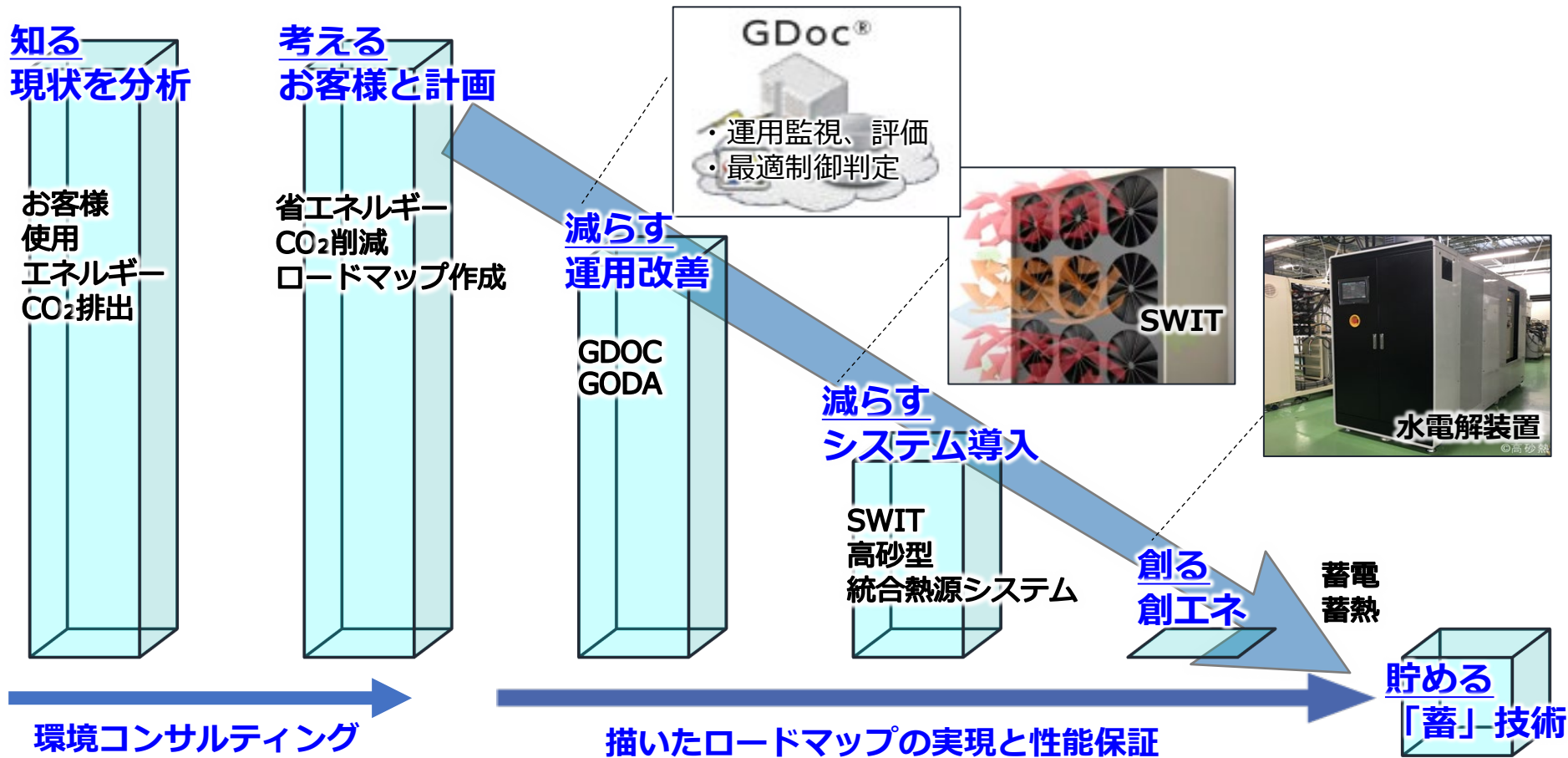
川崎臨海部のカーボンニュートラル化に向け、国内最大級の官民協議会を設立しました！

川崎市は、民間事業者57社^{*}と連携し、コンビナート及びポートのカーボンニュートラル化に向け、新たに官民協議会を設立し、第1回協議会・設立式を開催しました。
本協議会は、川崎臨海部(川崎港)においてカーボンニュートラルコンビナート及びカーボンニュートラルポートの形成を進めるため、コンビナート立地企業等で構成し、企業間連携によるプロジェクト創出の取組を行っていきます。

*コンビナートのカーボンニュートラル化に向けた官民協議会としては国内最大となります。

参考) 当社のコアコンピテンシーと環境負荷低減へのこれまでの取り組み

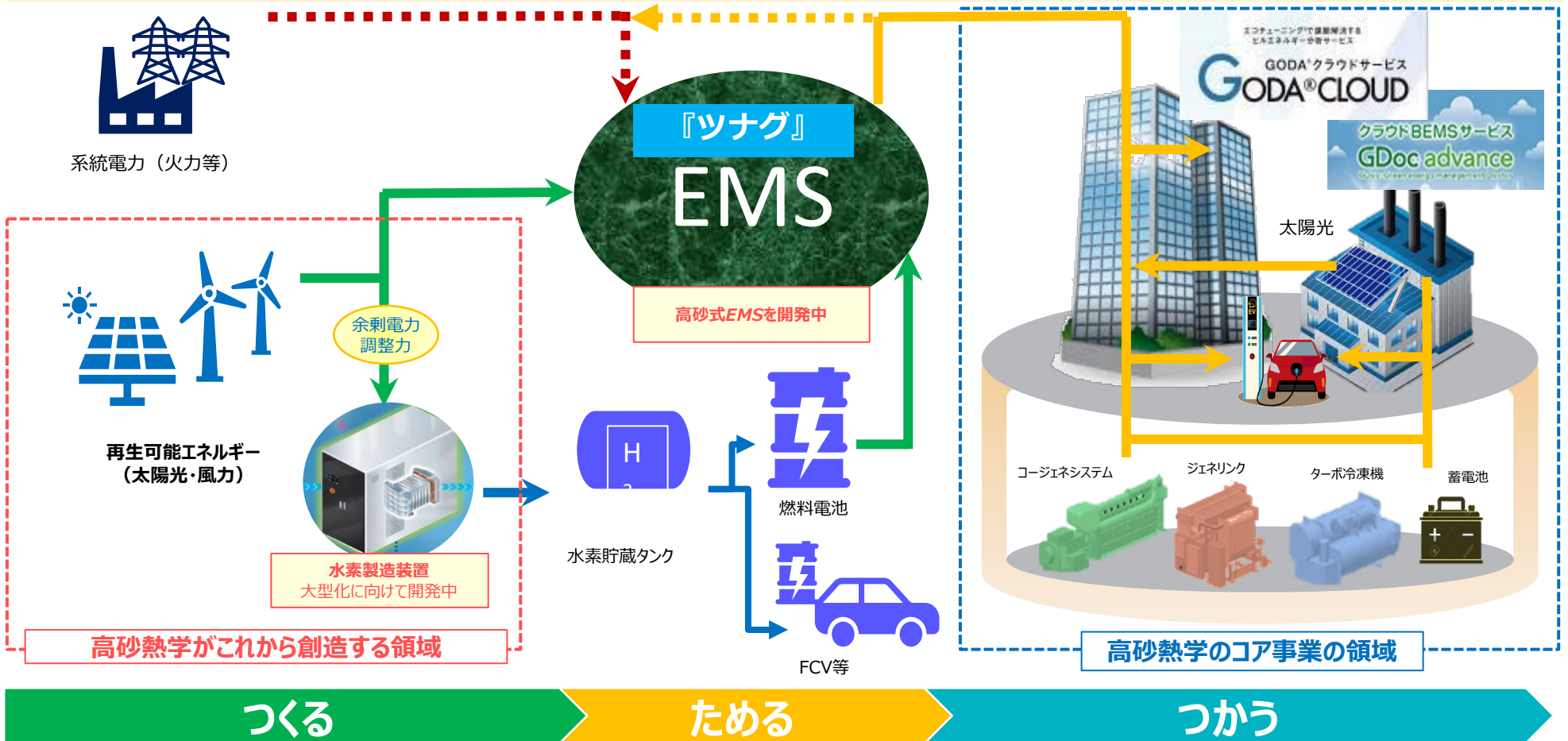
お客様の空調設備における運用エネルギーを「知る」アプローチから始め、
運用エネルギーを「へらす」、「つくる」、「ためる」技術を開発し、提供



地球環境に貢献するカーボンニュートラル事業

①成長戦略の取り組み進捗について 3) カーボンニュートラル実現に向けた高砂熱学の挑戦

- 最小限のエネルギーで顧客ニーズに沿った環境を作るノウハウを蓄積=つかう(減らす)
- カーボンニュートラル実現に資するための最適なエネルギーシステムを提供=つくる、ためる、『ツナグ』



①成長戦略の取り組み進捗について 4)「人的資本」強化に関する取り組み

環境クリエイターとして未来に向けて更なる発展を続けるために、採用強化、多様性の確保、人財育成、働く社員の労働環境整備等を通じ、人的資本の強化へ

採用強化ならびに多様性の確保・推進

- ・新卒採用に加え、DX等の高度専門技能人財含めた経験者採用強化
- ・女性管理職・管理職候補、外国籍社員比率増加

	2021.4	2022.4	2030 年頃
経験者採用管理職比率	8.9%	9.5%	現状より増加
経験者採用比率	15.8%	16.5%	現状より増加
女性管理職候補層比率	5.5%	6.3%	30%
女性管理職比率	1.5%	1.9%	10%
外国籍社員比率	1.5%	1.7%	現状より増加

- ・2022年10月 外国籍社員と社長のダイアログ開催
- ・2022年11月 プレ女性全国大会※1 の開催
※1 →全女性社員がオンサイトで結集。2023年の開催予定

人財育成の強化

- ・サクセッションプランに基づく経営人財の育成
- ・目的別・階層別の実践的・多角的な教育プログラムの拡充（多様性推進、高度専門技術、事業開発セミナー など）
- ・DX・BIM化等、成長戦略の推進に向けた研修実施（2022年10月 神戸大学数理サイエンスセンター主催「次世代DXリーダ育成プログラム」へ社員を派遣）
- ・管理職候補以上社員を対象として、財務・会計リテラシー等の e-ラーニング実施
- ・協力会社役職員に対して育成支援、経営課題改善に貢献

役職員が能力を最大限に発揮出来るための労働環境整備

- ・定期的（毎月）に、エンゲージメントサーベイを実施
- ・健康経営・Well-being推進に向けた施策の実施（健康経営銘柄2022・健康経営優良法人2022認定）
- ・柔軟な働き方、多様なキャリアパスを実現するための新たな人事制度の策定・見直し継続検討

②高砂熱学のESGの取り組み進捗について

E

- T-Base®での廃プラの可視化・マテリアルリサイクルの確立
東京都環境局「令和4年度革新的技術・ビジネスモデル推進プロジェクト」事業者採択



- 環境保全活動として、高砂の森における森林活動、清掃活動の実施

- 防災のための避難所や地域スポーツに適した体育館用
「安全快適な空調換気システム」実証試験開始（茨城県つくばみらい市にて）



E
S

- 環境不動産への取り組みとして 保有不動産にてCASBEE Aランク取得

- SIS-HF導入の国頭漁業共同組合（沖縄）による「やんばる国頭フェア」に参画

S

- イノベーションセンターにおける高校生向けインターンシップ、小学生向け科学実験・見学会
児童生徒の夏休み研究（科学研究部門）への「高砂熱学環境クリエイター賞」の授与

- 外国籍社員と社長によるダイアログを開催

- LGBTQに関する職場における取り組みの
評価指標「PRIDE指標2022」ブロンズ受賞
(主催：work with Pride)



Appendix. 資料集

環境クリエイター® TakasaGo!

 高砂熱学

受注および販売の状況（単体・子会社別業績）

（単位：百万円、％）

		2021/3期 2Q	2022/3期 2Q	2023/3期 2Q	
		実績	実績	実績	増減率
受注高	単体	105,465	115,684	163,582	+41.4
	国内子会社	18,051	20,024	19,532	▲ 2.5
	海外子会社	19,176	21,514	38,889	+80.8
	調整額	▲4,602	▲3,303	1,927	—
	合計	138,090	153,921	223,931	+45.5
売上高	単体	89,938	88,149	107,672	+22.1
	国内子会社	17,004	18,816	17,353	▲7.8
	海外子会社	14,746	19,531	29,604	+51.6
	調整額	▲4,032	▲4,222	▲3,830	—
	合計	117,655	122,275	150,801	+23.3
連単倍率（売上高）		1.31倍	1.39倍	1.40倍	

受注および販売の状況（連結・事業別）

（単位：百万円、％）

			2021/3期 2Q		2022/3期 2Q		2023/3期 2Q		
			実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	増減率
受注高	設備工事	一般設備	83,642	60.6	89,588	58.2	97,271	43.4	+8.6
		産業設備	51,363	37.2	61,169	39.8	123,094	55.0	+101.2
	設備機器の製造・販売		2,983	2.1	3,097	2.0	3,497	1.6	+12.9
	その他		100	0.1	66	0.0	67	0.0	+1.8
	合計		138,090	100.0	153,921	100.0	223,931	100.0	+45.5
	（うち海外）		(18,328)	(13.3)	(22,914)	(14.9)	(45,315)	(20.2)	(+97.8)
	（うち保守・メンテナンス）		(11,648)	(8.4)	(13,018)	(8.5)	(12,418)	(5.5)	(▲4.6)
売上高	設備工事	一般設備	64,860	55.1	66,851	54.7	68,903	45.7	+3.1
		産業設備	50,337	42.8	52,676	43.1	79,021	52.4	+50.0
	設備機器の製造・販売		2,357	2.0	2,680	2.2	2,808	1.9	+4.8
	その他		100	0.1	66	0.0	67	0.0	+1.8
	合計		117,655	100.0	122,275	100.0	150,801	100.0	+23.3
	（うち海外）		(14,840)	(12.6)	(19,527)	(16.0)	(29,635)	(19.7)	(+51.8)
	（うち保守・メンテナンス）		(10,527)	(8.9)	(11,823)	(9.7)	(11,396)	(7.6)	(▲3.6)
繰越高	設備工事	一般設備	161,618	66.8	168,462	64.0	173,434	50.7	+3.0
		産業設備	77,984	32.3	92,794	35.3	165,448	48.4	+78.3
	設備機器の製造・販売		2,093	0.9	1,837	0.7	3,134	0.9	+70.6
	合計		241,696	100.0	263,095	100.0	342,018	100.0	+30.0
	（うち海外）		(31,561)	(13.1)	(32,840)	(12.5)	(61,230)	(17.9)	(+86.4)
（うち保守・メンテナンス）		(2,887)	(1.2)	(2,594)	(1.0)	(2,931)	(0.9)	(+13.0)	

（注）受注高、売上高および繰越高のセグメント間取引については、相殺消去している。

四半期別受注・売上実績（連結）

（単位：億円、％）

	受注					売上					
	2022/3期		2023/3期		増減率	2022/3期		2023/3期		増減率	
	四半期	累計	四半期	累計		四半期	累計	四半期	累計		
1Q	設備工事業	768	768	1,199	1,199	+56.1	542	542	709	709	+31.0
	一般設備	462	462	560	560	+21.3	299	299	317	317	+5.9
	産業設備	306	306	638	638	+108.5	242	242	392	392	+62.0
	設備機器の製造・販売事業	14	14	15	15	+8.5	13	13	12	12	▲3.0
	その他	0	0	0	0	▲2.9	0	0	0	0	▲2.9
	合計	783	783	1,214	1,214	+55.2	555	555	723	723	+30.1
	(うち海外)	(125)	(125)	(200)	(200)	(+59.5)	(94)	(94)	(131)	(131)	(+39.3)
	(うち保守・メンテナンス)	(73)	(73)	(65)	(65)	(▲11.1)	(54)	(54)	(54)	(54)	(▲0.2)
2Q	設備工事業	739	1,507	1,004	2,203	+46.2	653	1,195	769	1,479	+23.8
	一般設備	433	895	412	972	+8.6	368	668	371	689	+3.1
	産業設備	305	611	592	1,230	+101.2	284	526	397	790	+50.0
	設備機器の製造・販売事業	16	30	19	34	+12.9	13	26	15	28	+4.8
	その他	0	0	0	0	+1.8	0	0	0	0	+1.8
	合計	756	1,539	1,024	2,239	+45.5	667	1,222	784	1,508	+23.3
	(うち海外)	(103)	(229)	(252)	(453)	(+97.8)	(101)	(195)	(165)	(296)	(+51.8)
	(うち保守・メンテナンス)	(56)	(130)	(58)	(124)	(▲4.6)	(63)	(118)	(59)	(113)	(▲3.6)
3Q	設備工事業	791	2,299				762	1,957			
	一般設備	307	1,203				438	1,106			
	産業設備	484	1,096				323	850			
	設備機器の製造・販売事業	16	47				16	43			
	その他	0	0				0	0			
	合計	808	2,347				778	2,001			
	(うち海外)	(159)	(388)				(101)	(297)			
	(うち保守・メンテナンス)	(59)	(190)				(66)	(184)			
4Q	設備工事業	1,031	3,331				1,009	2,967			
	一般設備	392	1,595				495	1,602			
	産業設備	639	1,735				514	1,365			
	設備機器の製造・販売事業	22	69				16	59			
	その他	0	0				0	0			
	合計	1,054	3,401				1,025	3,027			
	(うち海外)	(278)	(667)				(209)	(506)			
	(うち保守・メンテナンス)	(69)	(259)				(70)	(254)			

業績サマリー（個別）

（単位：百万円、％）

	2021/3期 2Q	2022/3期 2Q	2023/3期 2Q		
	実績	実績	実績	増減	増減率
売上高	89,938	88,149	107,672	+19,523	+22.2
売上総利益 （売上総利益率）	10,760 (12.0)	10,823 (12.3)	11,783 (10.9)	+960 (▲1.4)	+8.9 -
営業利益 （営業利益率）	3,118 (3.5)	2,740 (3.1)	1,326 (1.2)	▲1,414 (▲1.9)	▲51.6 -
経常利益 （経常利益率）	4,539 (5.0)	4,702 (5.3)	2,563 (2.4)	▲2,139 (▲2.9)	▲45.5 -
四半期純利益 （四半期純利益率）	2,871 (3.2)	3,433 (3.9)	1,825 (1.7)	▲1,608 (▲2.2)	▲46.8 -

受注高	105,465	115,684	163,582	+47,898	+41.4
繰越高	208,090	228,700	278,370	+49,670	+21.7

工事種類別受注・完成工事高（個別）

工事種類別受注工事高（個別）

（単位：億円、％）

		2021/3期			2022/3期			2023/3期		
		2Q	通期	通期 構成比	2Q	通期	通期 構成比	2Q	2Q 増減率	2Q 構成比
合 計		1,054	2,224	100.0%	1,156	2,419	100.0%	1,635	+41.4	100.0%
一般設備・ 産業設備	一般設備	724	1,319	59.3%	771	1,347	55.7%	853	+10.7	52.2%
	産業設備	330	905	40.7%	385	1,071	44.3%	782	+102.8	47.8%
新築・ リニューアル	新築	367	971	43.7%	398	982	40.6%	797	+100.1	48.7%
	リニューアル	687	1,253	56.3%	758	1,437	59.4%	838	+10.6	51.3%

工事種類別完成工事高（個別）

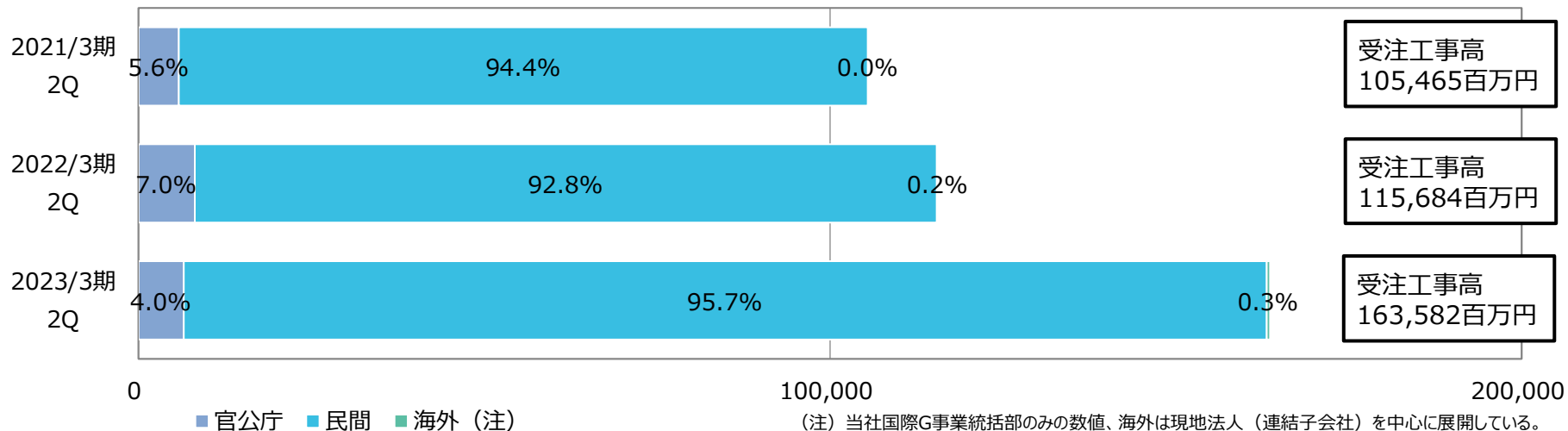
（単位：億円、％）

		2021/3期			2022/3期			2023/3期		
		2Q	通期	通期 構成比	2Q	通期	通期 構成比	2Q	2Q 増減率	2Q 構成比
合 計		899	2,117	100.0%	881	2,206	100.0%	1,076	+22.1	100.0%
一般設備・ 産業設備	一般設備	543	1,276	60.3%	549	1,346	61.0%	582	+5.9	54.1%
	産業設備	356	841	39.7%	331	859	39.0%	494	+49.0	45.9%
新築・ リニューアル	新築	396	847	40.0%	380	943	42.8%	488	+28.4	45.4%
	リニューアル	502	1,270	60.0%	501	1,262	57.2%	588	+17.4	54.6%

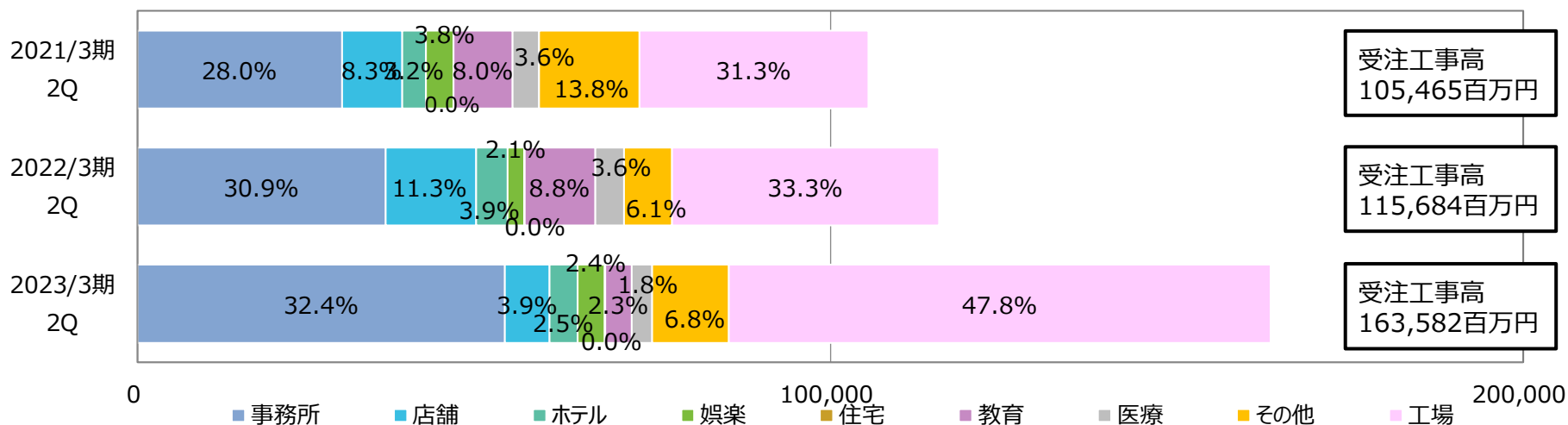
（注）当社国際G事業統括部のみの数値、海外は現地法人（連結子会社）を中心に展開している。

受注工事高内訳（個別）

官公庁・民間・海外

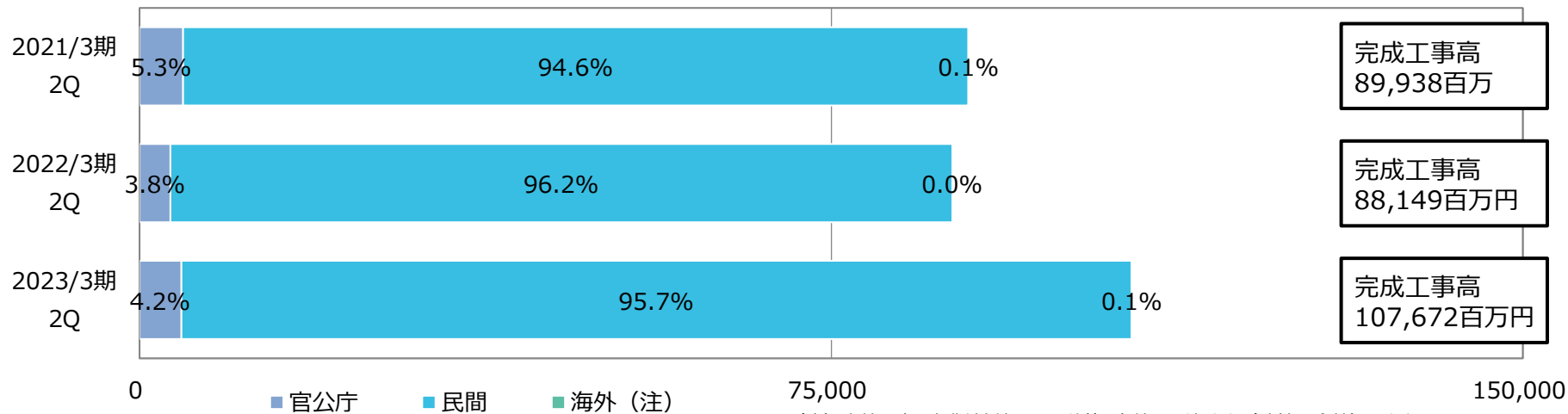


用途別



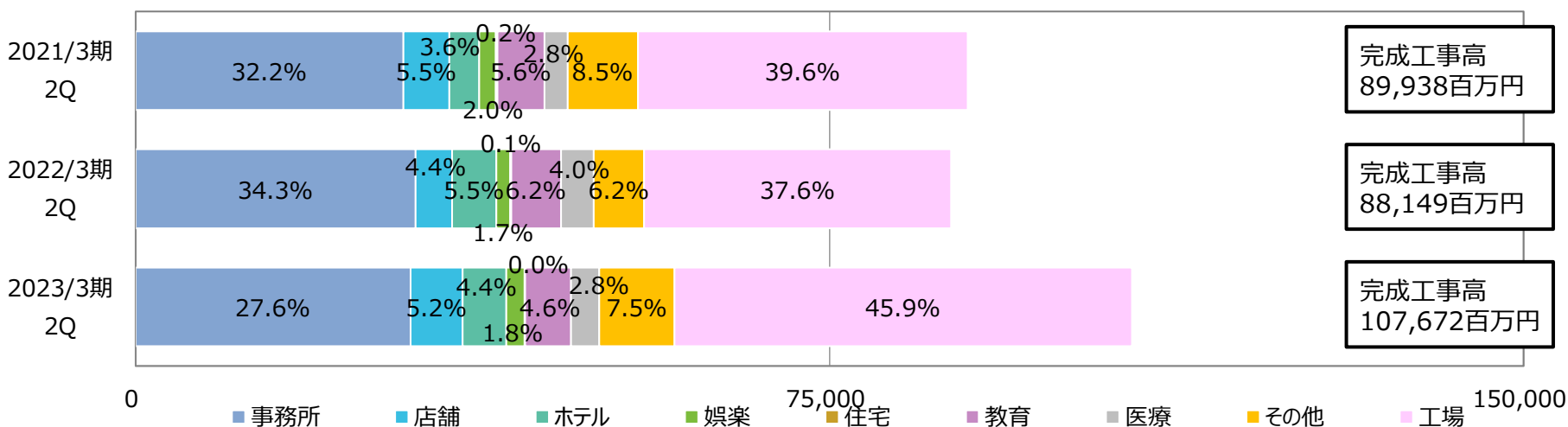
完成工事高内訳（個別）

官公庁・民間・海外



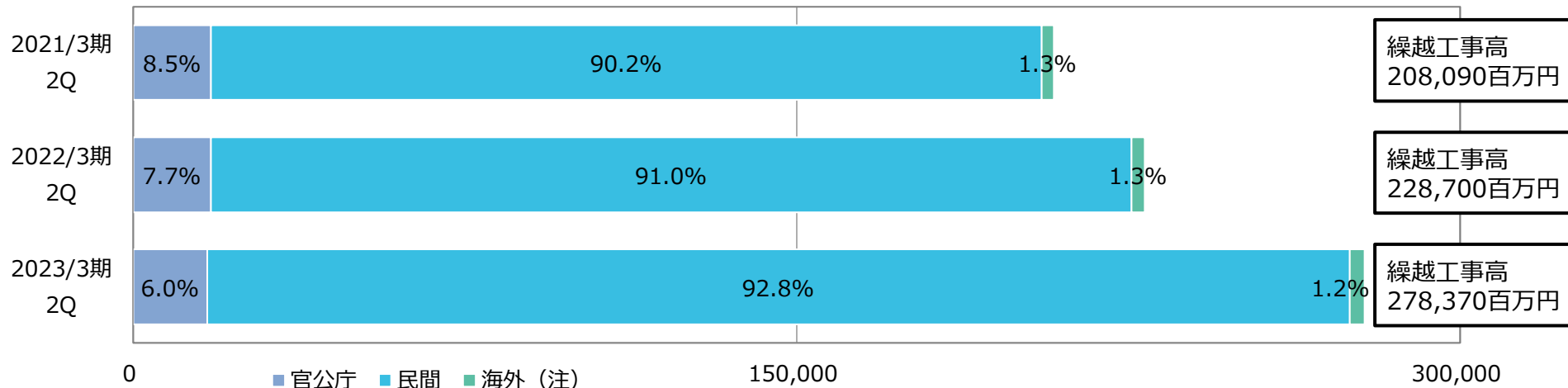
(注) 当社国際G事業統括部のみの数値、海外は現地法人（連結子会社）を中心に展開している。

用途別



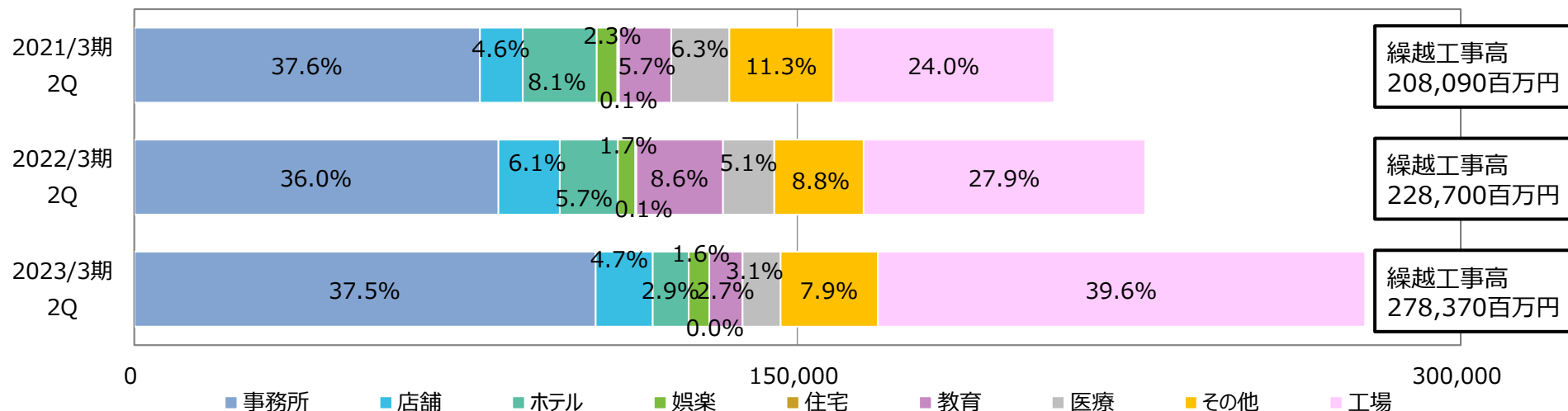
繰越工事高内訳（個別）

官公庁・民間・海外



(注) 当社国際G事業統括部のみの数値、海外は現地法人（連結子会社）を中心に展開している。

用途別



工事種類別受注・完成工事高（個別）

設備投資

（単位：百万円）

	2022/3期 2Q	2023/3期 2Q
連結	1,662	836
個別	1,500	604

減価償却費（固定資産）

（単位：百万円）

	2022/3期 2Q	2023/3期 2Q
連結	834	1,123
個別	473	714

研究開発費

（単位：百万円）

	2022/3期 2Q	2023/3期 2Q
連結	416	1,202
個別	382	1,154

元請負・下請負比率(受注)

（単位：％）

		2022/3期 2Q	2023/3期 2Q
個別	元請負	52.2	48.8
	下請負	47.8	51.2

当期受注かつ当期完成比率（完成工事高）

（単位：％）

	2022/3期 2Q	2023/3期 2Q
個別	18.3	11.0

期末従業員数

（単位：名）

	2022/3期 2Q	2022/3期	2023/3期 2Q
連結	6,025	6,018	5,956
個別	2,160	2,131	2,189

将来予測に関する注意事項

この資料に掲載してある将来予測に関する情報は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいています。

このため、実際の結果と大きく異なったり、予告なしに変更される可能性がありますので、あらかじめ御了承ください。

IRに関するお問い合わせ先

高砂熱学工業株式会社

財務・IR統括部 コーポレート・コミュニケーション室 中村、平木

〒160-0022 東京都新宿区新宿6-27-30 新宿イーストサイドスクエア12階

TEL : 03-6369-8215 FAX : 03-6369-9103

メールアドレス :

isao_nakamura@tte-net.com; terumasa_hiraki@tte-net.com